

第 2 回堺市美原区政策会議（書面開催）	
回答期限	令和 7 年 11 月 11 日（火）
出席構成員	堀内座長、朝熊構成員、東構成員、阿部構成員、礒部構成員、氏林構成員、浦構成員、鈴木 構成員、高岡構成員、高城構成員、田中構成員、辻本構成員、釣井構成員、寺井構成員、豊岡構成員、鳥井構成員、西村構成員、伯井構成員、堀内構成員、松本構成員、大和構成員、湯井構成員
議題	美原区基本計画 美原区ビジョン 2030 計画案について
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・（別紙 1）美原区ビジョン 2030 計画案へのご意見について ・（別紙 2）第 1 回美原区政策会議の意見及び令和 6 年度美原区民意識調査の結果反映箇所

構成員氏名	意見要旨
堀内 史朗	<p>○基本方針 1</p> <p>p13 孤立させないコミュニティの強化</p> <p>4 行目「・・・自治会への加入率」を「・・・自治会への加入や自主活動団体への協力・参加」とすべき。事情があって自治会に参加できない人にも地域のイベントに参加してもらうことが、地域で顔の見える関係を作ることがコミュニティの強化において大事。</p> <p>○基本方針 2</p> <p>p15 南河内地域との連携</p> <p>表題の「南河内地域」とあるのは「周辺地域」としてはどうか。南河内地域だけでなく泉州地域との連携や、場合によっては北摂や奈良との連携が求められることもあると思います。</p>
朝熊 規夫	現在の計画案で問題なし。
東 文義	<p>○基本方針 3 に対する KPI</p> <p>「基本方針の中身」と「指標としている質問内容」とは、少し乖離があるように思う。</p> <p>○その他</p> <p>KPI に関わる設問内容は堺市民意識調査を使用されていることから、堺市全体を対象にした調査項目を「区の基本方針」の評価指標として用いることに違和感があるため、可能であれば、「美原区民意識調査」を 2 ～ 3 年ごとに行い、適切な設問を設定しても良いのでは。</p>
阿部 美奈子	全てにおいて計画期間内に整っていて欲しいと期待する。
礒部 鮎美	現在の計画案で問題なし。
氏林 都美子	<p>○基本方針 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで取り組む防災・防犯活動 <ul style="list-style-type: none"> 大災害（例：南海トラフ巨大地震）に対応する防災訓練を地域の大商業施設を取り込み、自治体（堺市・美原区）が中心となった訓練（避難所の開設）の実施 ・安全・安心で快適な交通環境への取組を強化 <ul style="list-style-type: none"> 美原区（堺市）のみならず周辺都市を含めた交通網の構築 <p>○基本方針 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での子育てに対する意識改革（よその子ではなく地域の子） 公園等の遊び場の充実

浦 展諭	<p>○全体的な印象として、指標が意識調査なのでより具体的な数値が見えた方が良い。 ビジョンなので抽象的でも良いという事であれば問題ない。</p> <p>○基本方針 1 について 成果指標の部分で「意識」に関する指標に加え、より具体的な成果（アウトカム）を記載してはどうか。 例：「災害に強い」という部分 → 自主防災組織の活動回数、防災備蓄品の充足率など。</p> <p>○基本方針 2 について 美原にある企業さんが一堂に会して「美原企業祭」みたいなものを開催するのも面白い。 「企業によるイベントなど」という表現でも良いと思う。</p> <p>○基本方針 3 について こども子育ての支援について 親子が集う場である施設（会館）の利用率、保護者の孤立防止につながる相談件数などの指標を加えることで、活動プランとの連動性が強化される。</p>
鈴木 省吾	現在の計画案で問題なし。
高岡 英治	<p>○基本方針 1 活動団体の人数が減少していることは仕方がないことだと思う。ビジョンに記載することで団体の方々も啓発活動がより行いやすくなったと思うので、協働しながら行ってほしい。 ICT の活用については講習会を開く等みなさんが活用できて、便利なツールになるように取り組んでほしい。</p> <p>○基本方針 2 大型商業施設や堺市総合防災センターでのイベント企画による美原区の魅力発信は今後もたくさん行ってほしい。 記載していただいているようにだんじりを通して、愛着を感じられる地域を育めるように頑張っていきたい。</p> <p>○基本方針 3 健康情報の提供等、人がやらずとも AI が出来るようなことはしっかりと活用して、人員不足も解消される環境になってほしい。</p> <p>○その他計画全体に対しての意見 政策会議で出た内容が反映されている。 "みんな"を強調して今回の美原区ビジョン 2030 では謳っていて市民等も発言しやすいという観点では良いと思うが、行政の発信や計画があつてこそそれぞれの意見だと思うのでそこに関して市民や企業を置き去りにしない美原区"みんな"での活動を期待したい。</p>
高城 津留子	現在の計画案で問題なし。
田中 清恵	現在の計画案で問題なし。
辻本 里華	<p>○基本方針 1 こどもたちが安心して過ごせる地域にしていくために、学校や家庭の中だけでなく、地域全体で見守れる仕組みをもっと活性化できたらと思う。 不審者情報などを地域同士で早く共有できるような「相互通報」の体制があると、みんなでこどもを守る意</p>

	<p>識が高まるのではないかと感じている。</p> <p>学校で起きた問題を学校だけで抱え込まず、必要に応じて警察や関係機関と連携するような姿勢も大切。</p> <p>こどもの安全を最優先に、地域・学校・家庭・行政・警察がそれぞれの立場から力を合わせられるような体制づくりをお願いしたい。</p> <p>○基本方針 2</p> <p>文化交流を通じた地域の活性化はとても大切。</p> <p>その中で、盆踊りや夏祭りなどの行事も、伝統を大切にしながらも、時代に合わせて柔軟に変化していくことが必要。</p> <p>たとえば、だんじりは警察への通報数などを公表し、マイクの音量調整や終了時間を少し早めるなど、地域の生活リズムに配慮した運営ができると、より多くの人が気持ちよく参加できると思う。</p> <p>○基本方針 3</p> <p>子育てしやすい環境の充実という点については、母親だけでなく、父親も含めた子育てへの意識づくりが大切。</p> <p>「母親だから我慢する」「母親が頑張るのが当たり前」といった風潮を少しずつ変えていくことで、家庭全体がより健やかに子育てできる環境に近づくと感じている。</p> <p>また、昨今共働き世帯が多く、働き方も多様化しているため、母親向けのイベントは平日、父親向けのイベントは土日開催という固定概念に縛られずに、多様な働き方、世帯に合わせたイベントが実施してもらいたい。</p> <p>社会全体で子育てを支えるという視点を、今後のビジョンにも反映していけたらと思う。</p>
釣井 未来子	<p>特に意見はありませんが、各方針、理想だけに留まらず全て実現させていくために前進されることを強く望む。</p> <p>PTA の関わりの中でも、年々学級数が減っていくのを実感しており、不登校から引きこもり状態になっているこどもが増えていると聞きます。</p> <p>課題はたくさんあると思うが、様々な機関が協力し合って美原区がますます発展してほしい。</p>
寺井 孝次	現在の計画案で問題なし。
豊岡 敬	現在の計画案で問題なし。
鳥井 寿々子	現在の計画案で問題なし。
西村 優子	<p>○基本方針 1</p> <p>美原の魅力を伝えるにあたりとても良い案。</p> <p>健康相談などは車がない方への対策として各地区のこども館や地区会館などでも開催してくれると嬉しい。</p> <p>○基本方針 2</p> <p>だんじりなどは逆に住みたくなくなる場合もあるので、「参加したい人が参加できる」のように自由度が高いことを伝えるようにしたほうが良い。</p> <p>また、美原区には多くの公園があるので、それも付け加えると子育てしやすい PR のひとつになるのでは。</p> <p>○基本方針 3</p> <p>スポーツ施設についても書いてあると分かりやすい。また、起業支援があるならそれも書いてくれると嬉しい。</p>

	<p>○その他</p> <p>全体的に"みんな"が多すぎて、しつこい印象。"みんな"の範囲が広すぎて逆に分かりづらく感じた。</p> <p>総合的には美原の明るい未来を想像することができる、素晴らしいビジョンだと思う。</p>
伯井 誠典	現在の計画案で問題なし。
松本 純也	<p>○「地域の特色・資源」・「地域の課題」が掲載されており分かりやすい。</p> <p>○基本方針 1</p> <p>「安全、安心に暮らせる」というテーマに対しては、記載されているものだけでなく、「食の安全・安心」も大切な要素であると考え。</p> <p>近年、食料価格の上昇や「令和の米騒動」とも呼ばれる流通不安、さらには農業資材(肥料・農薬等)の価格高騰や運送コストの増加など、食と農を取り巻く環境は大きく変化している。こうした中で、暮らしに直結する「食の安全・安心」を地域全体で守り育てていくことが求められている。</p> <p>○基本方針 2</p> <p>市街化調整区域が 4 割・農地 2 割という地理的な背景も踏まえて、農地を活用した魅力を創出し、訪れたい・住みたい・活動したいとなる活動プランが必要。</p> <p>例：地域の農業資源を活かした体験型イベントの実施など</p> <p>○基本方針 3</p> <p>「子育てしやすい環境の充実」は、基本方針 2 の「住みたい・活動したい」に位置づける方が望ましい。</p> <p>「地域での継続的な健康維持や介護予防」は、基本方針 1 の「安全、安心」に位置づける方が望ましい。</p>
大和 大司	<p>○基本方針 1</p> <p>すごく良い基本方針だと思う。</p> <p>○基本方針 2・3</p> <p>「なぜ人は住みたいと思うのか」を再定義する必要があるのでは。</p> <p>「住みたい街」とは利便性やイメージによって選ばれる街であり、外向きの魅力の結果であり、一方で「住みたい街」とは、日々の暮らしの中で得られる実感と関係性によって評価される街。</p> <p>したがって、美原区が目指すべきは施設や企業の誘致という外的要因にとどまらず、暮らしの質を内側から高める仕組みの構築が必要。</p> <p>すなわち、人が住みたいと思う要素は、「日常の幸福感」と「地域とのつながり」。</p> <p>また、美原区の強みは、「自然」「歴史」「農業」「ものづくり」「人情」というアナログ的魅力が残ることにある。これらを“現代的な価値体験”へと編集し直すことで、若者や子育て世代にも響く魅力を創出できる。</p> <p>○計画全体としてはとても美原区にとって良いものになっている。</p>
湯井 順子	<p>○p3 構成と p19【参考】SDGs の目標</p> <p>他のページを参照しないと内容が理解できない点が非常に気になった。</p> <p>項目事項が単語・短文ですので、内容をそのまま記載し、各ページで完結するように作成をしたほうが、読みやすく理解しやすいと思う。</p>